

第3回 桐生・みどり共同事業協議会 開催結果

○日 時	令和6年4月26日（金）午後2時から午後2時18分まで		
○場 所	桐生市役所新館6階 委員会室		
○出席者	桐生市長		荒木 恵司
	桐生市副市長		森山 享大
	桐生市議会議長		人見 武男
	桐生市議会副議長		山之内 肇
	桐生市議会総務委員会委員長		石渡 宏明
	桐生市議会公共施設のあり方等調査特別委員会委員長		福島 賢一
	みどり市長		須藤 昭男
	みどり市副市長		塚越 昭一
	みどり市議会議長		杉山 英行
	みどり市議会副議長		宮崎 武
	みどり市議会総務文教常任委員会委員長		柴崎 訓佳
	みどり市議会市民福祉常任委員会委員長		高草木 弘子
	事務局職員13人（桐生市：6人 みどり市：7人）		

○報道機関 3社（上毛新聞、読売新聞、桐生タイムス 計4人）

○傍聴者 9人（みどり市議3人、その他6人）

○会議内容

1 開 会

2 両市長挨拶

3 報 告

- （1）桐生・みどり共同事業協議会設置要綱の一部改正について、（2）桐生・みどり未来創生会議での意見について事務局からそれぞれ説明を行った。

4 議 題

今後の斎場事業について

- ・第2回会議において、みどり市の委員から「高齢化の推移」、「斎場事業に係る過去10年間の経費・負担割合」といった資料の追加提示を求められたことから、資料を作成し委員に事前説明を行ったことを報告し、追加資料の内容も踏まえた上で、今後の斎場事業を桐生市・みどり市共同で行うのかそれぞれ単独で行うのかについて協議を行った。

[協議内容]

○みどり市委員

高齢化率が今後も上昇を続けることは明確である。現在の斎場事業について、事業運営が円滑に進んでいることについてご理解をいただけるのであれば、斎場事業は従来どおり共同実施していくことでお諮りいただきたい。

○桐生市委員

みどり市からの意見に対して、共同実施ということで同意いたしたい。

〔協議結果〕

- ・斎場事業については、両市で共同実施することで合意した。現在地における事業運営ありきではなく、新たな場所に斎場を建設することも想定し、両市の中でそれぞれ適地を選定する作業を進めることになった。

5 その他

〔委員意見〕

○みどり市委員

新たな場所に斎場を建設することも想定しながら斎場の適地を選定すると説明があったが、果たして進展できるのか。現在、地元対策がしっかりとできているとすれば、現在地での建て替えでもよいのではと思う。そういう点も踏まえて事務局でよく検討していただきたい。

→事務局

現在の斎場については、現在地において恒久的な事業運営を前提とはしていないことから、新たな候補地も含めて総合的に考えていきたい。

○桐生市委員

本日は、斎場事業について、両市で共同実施することで合意した。斎場については、現在地における事業運営ありきではなく、両市が責任を持って、それぞれ斎場の適地を綿密に協議して、今後に臨んでいくということが確認できた。今後、様々な議論があると思うが、この協議会においてその1つ1つのプロセスを踏まえてしっかりと決めていくということを委員の1人として、責任感を込めて意見表明させていただく。また、このことは関係者各位で共有すべきであると考えている。

※次回の会議は、みどり市において開催する

以 上